

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 349 号	氏名	堀江 一郎
学位審査委員	主査	山下 俊一	
	副査	吉浦 孝一郎	
	副査	中尾 一彦	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、橋本病モデルマウスを作成後、炎症性サイトカイン IL-17 を分泌する CD4 ⁺ T 細胞中の Th17 の病態形成への関与を検討したものであり、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 橋本病モデルとして NOD-H2 ^{h4} マウスを IL-17 ^{-/-} NOD マウスと交配し、IL-17 ^{+/+} , ^{+/-} , ^{-/-} NOD-H2 ^{h4} それぞれについて週齢毎の甲状腺病組織学的変化、血清学的変化、免疫応答細胞比率に加えて脾臓における細胞比率の検討を行い、これら研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、橋本病モデルマウスにおいて Th17 が甲状腺炎の形成に重要であり、脾臓においても Th17 と Th1 が増加していることを証明し、両者の病態形成への関与を明らかにし研究解析および考察は妥当である。			
以上のように本論文は橋本病研究の進展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			